



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 181

平成23年10月25日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

平成23年度第1回医会長協議会のご案内

日時：平成23年12月4日(日) 午後0時30分～
会場：協議会 午後0時30分～日耳鼻医学会事務所
講演会 午後2時30分～日耳鼻医学会事務所
懇親会 午後4時～八重洲富士屋ホテル
講師：日本大学耳鼻咽喉科学主任教授 池田 稔先生
「味覚障害の臨床」(仮題)

議題：

報告事項

- 1)第36回臨床家フォーラム報告
- 2)第37回臨床家フォーラム進捗状況について
- 3)日耳鼻医学会災害募金の最終結果報告
- 4)異物に関しての啓蒙ポスター作製について 他

協議事項

- 1)日耳鼻医学会と会員とのネットワークの構築について
 - 2)嚥下障害に関する啓蒙活動への取り組みについて
 - 3)歯科口腔保健の推進に関する法律に対する対応について
 - 4)ムンプス難聴発症予防の為にワクチン接種推進について 他
- 後日詳細をご案内いたします。都合が悪い場合は代理の出席を宜しくお願い致します。

誤嚥防止の啓蒙ポスターを作製することに

10月16日開催された全理事会で、小児に咽頭異物や誤嚥が多く見られるので、例えばピーナツや枝豆を与えるときは十分注意が必要という趣旨のポスターを作製することが決まった。従来、ポスター作製にはメーカーなどからの協賛を貰っていたが、日耳鼻医学会単独で作製することにした。11月中には会員へ発送の予定。

日耳鼻医学会顧問弁護士委嘱の検討にはいる

当会が発行している補聴器ポスターの内容が健聴者の一方的な見方で、難聴者の立場を無視したものでおかしいとの意見が事務所に寄せられたため前号の180号で補聴器関連ポスターの撤去をお願いした。その時の意見に対する対応に苦慮したので、対策として日耳鼻医学会にも顧問弁護士の存在が必要という意見が全理事会で出され、費用の問題もあるが、顧問弁護士をおく方向で検討することにした。

ムンプスウイルスワクチンの接種推進について

1993年にMMRワクチンが無菌性髄膜炎の発症が多発したため中止され、ムンプスウイルスワクチンが任意接種になったが以後摂取率は35%位と低い。一方ムンプス難聴児の発生は年間推計600人とも言われている。この現状を踏まえ、耳鼻咽喉科専門医の立場から後天性難聴の発症を少しでも少なくするため、ムンプスウイルスワクチンの接種を勧める運動を行うことが協議され、今後継続的活動とすることにした。

都耳鼻科医学会23年5月レセプト調査分析結果

都耳鼻科医学会社会保険部資料より抜粋
参加医療機関225件のうち、院外処方箋100%発行は80.5%、レセコン使用91.6%、レセプト電算システム導入84.5%、電子カルテ導入27.1%。
平均通院日数は国保老人2.3日、協会健保老人1.7日、後期高齢者2.2日。他は1.5～1.8日。平均点数は際だった増減は見られない。
通院日数の減少は時代の趨勢であり、今後もその傾向は続くものと思われる。今後の耳鼻科診療のあり方としては、必要かつ十分な検査と治療法の選択により、患者の満足度を上げ、診療点数を確保することであろう。

【参考】東京都各科別平均点数

(関東信越厚生局東京事務所が開示した資料より都保険医協会が作製したものより抜粋)

累計区分	平均点(院内・院外 処方を含む)	基準平均点 (平均点×1.2)
内科(人工透析以外)	1223	1467
小児科	953	1144
眼科	694	832
耳鼻咽喉科	787	944

*平均点は2010年診療分から算出されたもの。何月分の診療分を元にされたかは明らかにされていない。

花粉、今年の3割程度か

気象会社が来春の飛散予測

気象情報会社「ウェザーニューズ」は10月11日、来春のスギとヒノキ(北海道はシラカバ)の花粉飛散量予測を発表した。昨年の猛暑で記録的に多かった今年より大幅に減り、全国平均で今年の3割程度とみている。

各地域の予測は、北海道と関東甲信、北陸、東海、山陰、四国、九州は今年の3割程度、東北と近畿、山陽が同4割程度。同社によると、今年の夏は厳しい暑さの時期もあったが、統計史上最高の猛暑だった昨年夏と比べれば西日本は曇りや雨の時期が多く、東日本も雲が多く気温が上がらなかったことから、花粉を飛散させる雄花が少なくなると予想した。

北海道は晴れて暑い日が多かったが、シラカバは1年ごとに増減を繰り返す傾向があり、今年の大量飛散の影響で来春は少ないとみている。 提供 共同通信社(10.12)

外来管理加算・地域医療貢献加算は現状維持

中医協、厚労省が方向性を提示
次回診療報酬改定の具体的項目を検討する第2回目として、厚生労働省は10月12日の中医協総会に「外来管理加算、地域医療貢献加算について」などを提示した。

外来管理加算は5分ルール廃止に伴う要件の見直しが医療現場に受け入れられているとし、地域医療貢献加算については診療所・病院のそれぞれの評価につながっていると整理、ともに現状維持の方向性を示した。

外来管理加算では、前回改定時には5分ルールの撤廃により算定回数が増加が見込まれるとの判断に基づく財政措置も行った。しかし、厚労省がこの日示したデータでは、外来管理加算の算定回数は、改定前平成21年の7702千回に対し、改定後22年は7356千回と減少した。Online Medニュース(10.12)



経口用セフェム系製剤 薬価基準収載
日本薬局方 セフジニルカプセル、セフジニル細粒

セフゾン® 細粒小児用10%
カプセル 50mg
100mg

処方せん医薬品(注：第一医師等の処方せんにより使用すること) **Cefzon**®

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 **アステラス製薬株式会社**
東京都板橋区蓮根3-17-1
【資料請求先】本社/東京都中央区日本橋本町2-3-11